

市立貝塚病院経営強化プランの進捗・達成状況（令和 6 年度分）

令和 4 年 3 月に総務省より示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、当院では、令和 5 年度から令和 9 年度を計画期間とする市立貝塚病院経営強化プラン（以下「計画」と言う。）を令和 5 年 3 月に策定しました。計画では、経営改善だけでなく、地域医療構想を踏まえた医療提供体制の構築等、各種の取組等を定めています。また、令和 7 年 2 月に経営を取り巻く環境の変化に伴い一部改定しています。

この度、令和 6 年度における進捗・達成状況を取りまとめましたので、以下にお示しします。

1. 医療機能等指標に係る数値について

当院が果たすべき医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から医療機能等に係る数値目標を設定しています。

令和 6 年度においては、救急患者数、手術件数、リハビリ件数、在宅復帰率、クリニカルパス適用率、紹介率、臨床研修医の受入件数、については、計画値をクリアしましたが、地域救急貢献率、患者満足度（入院・外来）、逆紹介割合、相談窓口対応延件数は、未達成となりました。

	6 年度計画	6 年度実績	実績と計画の差異	
救急患者数(人)	2,122	2,717	595	達成
地域救急貢献率（％）	2.4	1.9	▲0.5	未達成
手術件数【手術室内】	3,593	3,753	160	達成
リハビリ件数	27,510	29,417	1,907	達成
患者満足度 入院	90.0	88.7	▲1.3	未達成
外来(点:100 点満点)	86.5	83.9	▲2.6	未達成
在宅復帰率（％）	98.0	98.2	0.2	達成
クリニカルパス使用率(％)	63.4	66.5	3.1	達成
紹介割合(％)	55.4	60.6	5.2	達成
逆紹介割合(‰)	46.2	39.5	▲6.7	未達成
臨床研修医の新規受入件数	2	2	0	達成
相談窓口対応(医療・療養・福祉相談等)延件数	9,715	8,077	▲1,638	未達成

※地域救急貢献率については、泉州 2 次医療圏の令和 6 年度救急搬送件数が公表されていないため、令和 6 年 1 月～12 月の件数で算定

2. 経営指標に係る数値について

令和6年度の稼働状況であります。病床利用率は、計画値である76.0%に対して76.5%となり、入院収益は計画値を上回ったものの、診療日1日あたり外来患者数が、計画値である591人に対して564人、外来患者1人1日当たり診療収入が、計画値17,698円に対して16,452円となり、外来収益は計画値を大きく下回りました。以上のことから、経常収支比率を始め、未達成の項目が多くなっています。

また、令和6年度の収支は、経常収支は686百万円の赤字となり、計画値を698百万円下回る結果となりました。計画未達成の要因としましては、医業費用である給与費、経費、材料費の高騰、また、外来収益等の料金収入の低迷などによるものです。

	6 年度 計画	6 年度 実績	実績と計画 の差異		他院の 状況 公立、 民間
1) 収支改善に係るもの					
経常収支比率(%)	100.1	92.1	▲ 8.0	未達成	公 95.1 私 95.6
医業収支比率(%)	97.5	89.1	▲ 8.4	未達成	公 93.3 私 94.7
修正医業収支比率 (%)	95.1	86.8	▲ 8.3	未達成	公 90.4
不良債務比率 (%)	▲ 6.7	5.0	11.7	未達成	—
資金不足比率 (%)	▲ 11.7	▲ 0.2	11.3	未達成	—
累積欠損金比率 (%)	24.2	36.3	12.1	未達成	—
2) 収入確保に関するもの					
病床利用率(%)	76.0	76.5	0.5	達成	公 76.0 全 69.4
1 日 当 た り 入 院 患 者 数 (人)	189.0	190.4	1.4	達成	—
平均在院日数 (日)	8.6	8.2	▲ 0.4	—	—
入院患者 1 人 1 日 当 た り 診 療収入(円)	63,688	63,610	▲ 78	未達成	—
診療日 1 日 当 た り 外 来 患 者 数(人)	591.0	564.3	▲ 26.7	未達成	—

外来患者 1 人 1 日当たり診療収入(円)	17,698	16,452	▲ 1,246	未達成	—
医師 1 人当たり入院・外来診療収入(千円)	122,357	129,991	7,634	達成	—
DPC 機能評価係数	1.4344	1.4425	0.0081	達成	—
3) 経費削減に係るもの					
給与費対修正医業収益比率(%)	58.5	62.7	4.2	未達成	公 55.6 私 56.0
材料費対修正医業収益比率(%)	24.7	26.9	2.2	未達成	公 30.1 私 24.2
経費対修正医業収益比率(%)	14.8	17.1	2.3	未達成	公 18.1 私 17.6
減価償却費対修正医業収益比率(%)	6.7	7.9	1.2	未達成	公 6.1 私 5.0
100 床あたり職員数 (人)	134.0	130.9	▲3.1	未達成	—
後発医薬品使用割合 (%)	80.0	20.2	▲59.8	未達成	—
4) 経営の安定性に係るもの					
常勤医師数 (人)	61	54	▲ 7.0	未達成	—
常勤看護師数 (人)	197	194	▲ 3.0	未達成	—
純資産額 (千円)	240,308	▲549,019	▲ 789,327	未達成	—
現金保有残高 (千円)	672,569	234,402	▲438,167	未達成	—
企業債残高(百万円)	2,817	2,954	137	未達成	—

※「他院の状況」欄の公立病院の数値については、大阪府自治体病院開設者協議会・大阪府公立病院協議会が作成し令和 6 年病院事業経営状況調査集計表の大阪府・大阪市を除く府内公立病院の数値（速報値）を記載している。

※「他院の状況」欄の民間病院の数値については、一般社団法人全国公私病院連盟が令和 6 年 6 月に実施した令和 6 年病院運営実態分析調査の私的病院の数値をもとに記載している。（病床利用率については、私的病院のデータが示されていないため、公立、公的病院を含む一般病院の数値を記載している。また、3) 経費削減に係るものの項目のうち「〇〇対修正医業収益比率」については、「〇〇対医業収益比率」で算定したものを記載している。）

収支について

(単位：百万円)

	6年度計画	6年度実績	実績と計画の差異
1. 医業収益	7,843	7,398	▲445
(1) 料金収入	7,464	7,019	▲445
(2) その他	379	379	0
2. 医業外収益	598	624	26
(1) 他会計負担金・補助金	252	252	0
(2) 国（府）補助金	10	13	3
(3) 長期前受金戻入	283	303	20
(4) その他	53	56	3
3. 特別利益	0	1	1
4. 総収益（1+2+3）	8,441	8,023	▲418
5. 医業費用	8,043	8,300	257
(1) 職員給与費	4,473	4,520	47
(2) 材料費	1,891	1,941	50
(3) 経費	1,129	1,228	99
(4) 減価償却費	515	569	54
(5) その他	35	42	7
6. 医業外費用	386	408	22
(1) 支払利息	44	49	5
(2) その他	342	359	17
7. 特別損失	0	0	0
8. 総費用（5+6+7）	8,429	8,708	279
経常損益（1+2）－（5+6）	12	▲686	▲698
純損益（4-8）	12	▲685	▲697

3. 令和6年度に実施した計画目標達成に向けた具体的な取組について（主なもの）

➤ 収入増加、確保対策

- 土曜日の二次救急告示の届出（令和7年1月～）
地域医療に貢献していくため、内科及び外科の二次救急告示を届出。
- 高度治療室（HCU）の設置（令和6年4月1日運用開始）
高齢化に対応した安全安心な医療提供を行っていくため、高度治療室（HCU）4床を運用開始。（ハイケアユニット入院医療管理料、令和6年5月1日算定開始）
- 介護保険施設等と協力医療機関協定締結
介護保険施設等と日頃から情報を共有し、入院治療が必要な場合には、よりスムーズな受入と治療を行う。（令和6年9月1日 2施設、令和6年11月1日 1施設、令和7年7月1日 1施設）
- 診療報酬加算の新規取得
外来・在宅ベースアップ評価料（令和6年6月1日算定開始）
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算（令和6年9月1日算定開始）
協力対象施設入所者入院加算（令和6年10月1日算定開始）
在宅患者支援病床初期加算（令和6年12月1日算定開始）
など

➤ マネジメント体制の強化

- 職員のモチベーション向上を目的とした人事評価制度の実施
勤務実績が病院経営にも大きく影響する医師について、診療や医療の質向上に係る病院への貢献を給与等に適切に反映する評価制度を実施。（令和6年4月～）
また、医師以外の職員についても、職務を遂行するにあたり発揮した能力や実績を給与に適切に反映できる評価制度を実施。（令和6年10月～）
- 外部アドバイザーの活用
コンサルティング会社を活用し、外部意見を取り入れた経営強化プロジェクト会議を実施。（令和6年度10回開催）
- Q C活動を通じた現場レベルでの業務改善を推進。（令和7年2月12日）

➤ その他

- 医師の確保
緩和ケア内科1名、皮膚科1名（令和6年4月1日）
麻酔科1名（令和6年9月1日）
- 関係機関と連携した災害医療訓練の実施（令和6年11月16日）
貝塚市医師会、貝塚市歯科医師会、貝塚市薬剤師会、岸和田保健所、貝塚市危機管理室及び貝塚消防本部と連携した災害医療訓練の実施。
- 非常用電源装置の更新（令和7年3月）

4. 今後について

令和 6 年度は、病床利用率の増加等により医業収益が令和 5 年度と比べ増加したものの、給与費、経費、減価償却などの費用増加により経常収支は 2 期連続の赤字となりました。

令和 7 年度以降につきましては、令和 6 年度に一部改定した本計画に定める経営目標を達成するため、コスト増加の抑制や削減に取り組みつつ、当院の強みを活かした紹介患者の確保、高度急性期病院からの下り搬送受入や、社会的要請の高い高齢救急患者の積極的受入等による患者確保により医業収益の増収を図りたいと考えてまいります。

今後も、当院が、貝塚市及び周辺地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供できるよう、病院一丸となって取り組んでまいりたいと考えています。